

平成 28 年第 412 回信濃町議会定例会 9 月会議録（3 日目）

（平成 28 年 9 月 7 日 午前 11 時 00 分）

●議長（小林幸雄） 会議を再開いたします。

通告の 2 北村照明議員。

- 1 防災計画について
- 2 軽自動車税について
- 3 消防団員の活動服について

議席番号 11 番・北村照明議員。

◆11 番（北村照明） 議席番号 11 番・北村照明です。質問に先立ちまして、このごろ台風 9 号・10 号・11 号と続けて、本来九州四国がメイン通りでございますが、岩手・北海道と直撃をして、甚大な被害が発生しております。被災された皆さんに心からお見舞いを申し上げて、質問に入ります。

まず、防災計画についてということで、お聞きをいたします。

6 月会議において、この点について同僚議員 4 人が防災関係について質問し、細かく答弁をいただきましたが、皆さん冬期間の大災害、当町においては水害とか風の害等々はないのですが、大地震が発生したときの避難所の開設について、誰も質問しなかったもので、私とその冬期間、厳寒期における避難所の開設についてお聞きしたいと思えます。

当町には、今年は大変暖かいのですが、当町ではちょっと涼しい年は 9 月中旬から下旬ぐらいからは、ちょっと朝晩こたつがほしいと、また春先になっても 6 月中旬頃までは、一日中でもないのですが、暖房が必要な時期でございます。また積雪時には大変寒さが厳しいので、一日中暖房が必要なきときもあります。阪神淡路大震災は 1 月に発生しております。県北部地震も 3 月でございます。神城地震は、11 月に起きておりますが、このような冬期間の大変寒い、厳しい寒さの時に、大地震等々が発生した場合の避難所の開設について、暖房器具等の備えは大丈夫でしょうかということで、真っ先の質問をお願いしたいと思います。

●議長（小林幸雄） 横川町長。

■町長（横川正知） 北村照明議員さんの御質問にお答えをさせていただきたいというふうに思います。信濃町もまさに特別豪雪地帯でありますから、そのような中で冬期間、万が一大地震を想定して起こった時に、避難所での対応についてはどうかと、こういうことでございます。

今、信濃町では第一次の避難集合場所というのは、議員御案内のように全町で 66 箇所

平成 28 年第 412 回信濃町議会定例会 9 月会議録（3 日目）

を指定をしているところがございます。いざ災害ということになった時には、その一番身近な一次避難集合場所に最初にお集まりいただくと、避難をしていただくというような場所になるわけでございます。高齢者の皆さんや、それから身体の御不自由な方々にも配慮して、そういった、まとまって避難所へ移動していただくことを目的に、指定したところがございます。長期間にわたってその場所に留まるということは、この段階では想定しておりませんので、今議員さんが御心配なられている冬期間の暖房器具の配置、あるいは物資等の備蓄についての予定については、特に今の段階ではないわけでございます。集会所等が一次避難場所の場合は、停電だとかそういうことで使えない場合を除いては、それぞれの場所にある暖房器具等々当面お使いいただくというようなことになってこようかと思えますし、必要に応じましては、状況に応じて冒頭の御挨拶でも申し上げさせていただいたのですが、それぞれまたレンタル会社等々との協定もさせていただいてございます。できる限り速やかに、その辺の対応をできるように、また対応をしてみたいというふうに思っております。細かな部分につきましては、また担当の課長の方からも答弁をさせていただきたいというふうに思います。以上でございます。

●議長（小林幸雄） 高橋総務課長。

■総務課長（高橋博司） 現在、町で指定しております避難所につきましては、16 箇所でございます。公民館の支館のように、通常暖房器具がある場合につきましては、それを使うということがございますが、旧小学校体育館等につきましては暖房器具等はございませんので、状況に応じて移動して使うような形を考えております。また、当然大地震になりますと、停電ということも想定されますので、発電機、役場用の発電機、分団用の発電機等をそちらに移動しまして、暖房器具を稼働させるという計画でございます。以上でございます。

●議長（小林幸雄） 北村議員。

◆11 番（北村照明） 私も続いてお聞きしたいというようなことも答弁にありましたんですが、毛布等々備蓄はされているという話は聞いておりますが、最大で 1400 人避難すると想定しているというような計画があるようでございますが、毛布、冬の間、毛布 1 枚とか 2 枚では到底寒さは防げないと思えますが、もしこれ今町長から言われましたが、レンタル会社からもという話もありましたんですが、即間に合うようなふうに考えておるのでしょうか。大地震が発生すれば、道路が寸断されたり、なかなか他の方から物資の輸送が滞ると思うのですが、その辺はどうでしょう。

●議長（小林幸雄） 高橋総務課長。

■総務課長（高橋博司） はい。アルミ毛布、フリース毛布等につきましては備蓄をしておりますので、必要に応じてそれを放出してまいる予定でございます。また、当然広

平成 28 年第 412 回信濃町議会定例会 9 月会議録（3 日目）

域の、今回の熊本地震のように広域にわたる被災をする場合もございますので、そういう場合におきましても、それぞれ協定を結んでおります企業等からの提供をいただいたり、また、防災の協定を結んでおります自治体とも連携をしまして、対応してまいりたいと思っております。また、今回も熊本地震におきましても、長野広域連合としましても備蓄品の放出を取りまとめをしておりますので、そういう関係におきましても近隣市町村との連携も図ってまいりたいと思っております。以上でございます。

●議長（小林幸雄） 北村議員。

◆11 番（北村照明） それか、旧小学校の体育館を避難所として使用する場合ですね、皆さん御存じのとおり、小中学校の入学式、卒業式で行ってみても、あの時期でも大変冷え込んで、あそこを避難所とするということは大変、真冬に避難所とするという場合は、大変厳しい環境だと思えます。お年寄り等々なんか行けば、間違うと凍死の具合になるような寒さのことも考えられますし、床がものすごく冷えてくるので、そういうようなところの対応とか何かは考えておるのでしょうか。しっかりした発泡スチロール製のものを敷くような段取りをして、そこにとりあえず寝泊りしてもらおうとか、そういうような段取りはできておるのでしょうか。その辺をお聞きします。

●議長（小林幸雄） 高橋総務課長。

■総務課長（高橋博司） はい。今回の防災訓練でも展示をさせていただきましたけれども、避難ルームというような形で簡易性のテントを、今回備蓄をしてございます。また、今回も簡易ベッドを展示をさせていただいたわけでございますが、そういうような、御高齢の方だとか、また支援が必要な方につきましては、そういうものを優先的に使っていただくなりをして、対応をしてまいりたいと考えております。以上でございます。

●議長（小林幸雄） 北村議員。

◆11 番（北村照明） さっき、停電が発生すると発電機というような話もありましたが、避難所が 3 箇所、4 箇所使用するとなると、発電機も消防団で持っているような小さい発電機ぐらいじゃ到底間に合わないと思うのですが、その辺のことも考えておるのでしょうか。また、今は電気で動かす暖房器具が主でございまして、昔の反射式のストーブはほとんど皆さん持っておりませんし、また使用もしていないので、その辺の対処はどうなっておりますでしょうか。

●議長（小林幸雄） 高橋総務課長。

■総務課長（高橋博司） 現在備蓄をしております発電機につきましては、3 台またバルーン照明機用に 2 台ということで、5 台備蓄をしてございます。また、消防団の各班に

平成 28 年第 412 回信濃町議会定例会 9 月会議録（3 日目）

発電機と投光器をセットで 14 台配置しておりますので、計算上では発電機 1 台でブルーヒーター 15 台が稼働できるということでございますので、台数的には充足されているというふうに考えておりますが、当然大地震などで広域の被害があった場合に、全ての避難所という形になりますと、それで全て対応できるということが難しい場合もあろうかと思っておりますので、その被災の状況から時間を追うごとに、充実をさせていくような形で対応してまいりたいと考えております。

●議長（小林幸雄） 北村議員。

◆11 番（北村照明） それで、一次避難所の強度は大丈夫ですかということで、お聞きします。屋根の構造が自然落下で落ちるような屋根なら、屋根の雪の重みもそう心配ないのですが、ほとんどの集落の公会堂とか、集落のセンター等々は雪が落ちないような雪崩止めが付いているような構造になっておまして、やっぱり雪が降ればまず自分の家の雪下ろしをやって、それから区長さんなり総代さんの号令によって、センターの雪下ろしというような具合になりまして、どうしてもそういう公共というか公の建物の方が、雪下ろしが後回しになると思うのですが、この一次避難所の強度の問題ですが、どういうふうに考えておりますか。大丈夫なんでしょうか。

●議長（小林幸雄） 高橋総務課長。

■総務課長（高橋博司） はい。一次避難集合場所に設定をさせていただいているところの多くが集会所等になりますけれども、この耐震性につきましては、昭和 56 年以前の建物につきましては、現在の耐震基準を充たしておらない状況ですので、大きな地震があった場合には、倒壊するおそれがあるという状況になっていると思います。その関係もございまして、先ほどの、北村議員の今回の想定によりますと、冬期間の災害ということですので、基本的には当町で考えられるのは、地震という災害になります。一次避難集合場所につきましては、災害時に地域の方が一時的にお集まりいただきまして、そこから避難所へ移動していただくという設定となっております。特に今回熊本地震におきましても、7 クラスの地震が余震だったということで、間をおきまして本震が来るというような状況もございますので、私どもとしましても冬期間のその地震のような場合には、耐震性のないような集会所等の一次避難集合場所の方につきましては、できるだけ早めに避難所の方に移動をしていただくということで、対応してまいりたいと考えております。

●議長（小林幸雄） 北村議員。

◆11 番（北村照明） 雪が屋根に積もっていて震度 5 強等々くらいな地震が寄れば、おそらく倒壊したり傾いて、その一次避難所も使用できない状態になると思うのですね。だから冬期間はなるべくそういう所の雪下ろしをこまめにやってもらうとか、町でまたそ

平成 28 年第 412 回信濃町議会定例会 9 月会議録（3 日目）

ういう連絡、区長さんなり総代さんをお願いするとか、考えておるのでしょうか。

●議長（小林幸雄） 高橋総務課長。

■総務課長（高橋博司） 現状では特にそのような事は考えておりませんが、またそれぞれの地区のお考えで、また体制等もございますので雪下ろし等地震等を想定する中で、こまめにさせていただければありがたいと思っております。

●議長（小林幸雄） 北村議員。

◆11 番（北村照明） 先ほども言ったのですが、なかなか公の建物というのは、どうしても後回しになってしまうのですね。日曜まで待とうとか、皆さん勤めておるので、どうしてもそういうふうに後回しになると思いますので、町の方からもそういうような指導をして、「一次避難所として使用してもらうので、なるべく雪下ろしを早めをお願い」とか、私はそういうお願いをしても、全然苦にはならないと思いますがどうでしょう。

●議長（小林幸雄） 高橋総務課長。

■総務課長（高橋博司） はい。それぞれの地区の御事情もあろうかと思っておりますけれども、また折をみてそういうこともお話をしてみたいと思います。

●議長（小林幸雄） 北村議員。

◆11 番（北村照明） 普通の家もそうなんですが、屋根に雪が積もっていて震度 5 強があれば、ほとんど傾いたり、弱い家は倒れたりするというようなことが考えられますが、町の計画では震度 6 強を予想して防災計画を立てておるわけですが、これ本当に 6 強の地震が寄せれば、ほとんどの家が倒壊するのではないかと、私はそういうふうに思っております。16 の避難所で 4180 人が収容可能と、1400 人が避難するとの想定で計画を立てておるんですが、この計画で大丈夫なんでしょうか。お願いします。

●議長（小林幸雄） 高橋総務課長。

■総務課長（高橋博司） はい。地域防災計画におきますのは、避難の想定につきましては、県の方でその指針が出ておまして、それに基づいておるものがございますけれども、当然、先ほど議員がおっしゃられたように、雪の状況だとかその他の要因もございますので、その想定どおりいくという、必ずしも確信があるわけではございません。ただ、地域防災計画をもう策定する前提としますと、その条件を基にして策定してございますので、それに基づきまして対応をしてみたいと考えております。

平成 28 年第 412 回信濃町議会定例会 9 月会議録（3 日目）

●議長（小林幸雄） 北村議員。

◆11 番（北村照明） 町内には斑尾高原にも大きいホテルがありますし、黒姫高原にも大きいホテルがありますが、そういうしっかりした建物は相当な地震でも大丈夫だと思いますので、そういうホテル等々をお願いして、一時避難所に利用させていただきたいとか、お風呂を利用させていただきたいとか、そういうような話し合いはなされておるのでしょうか。

●議長（小林幸雄） 高橋総務課長。

■総務課長（高橋博司） はい。現状ではそのような相談、協議というものはしておりません。

●議長（小林幸雄） 北村議員。

◆11 番（北村照明） 大災害、地震等々の大災害が発生すると、観光客もほとんど来られない状況になると思います。ホテルさんも多分営業できないと思いますが、やっぱりそういうようなしっかりした建物等々と町とお願いして、協定等々結んでおいてもらえばありがたいと思いますが、町長、その辺の考えはどうでしょう。

●議長（小林幸雄） 横川町長。

■町長（横川正知） はい。いざとなった場合という想定が、想定外になるということがいつも問題になるわけでありまして、今、前段で北村議員さんの今の信濃町の防災計画が、震度 6 程度のものを想定しての基準としての計画樹立がしてある、こういうこととございます。ところが御案内のように熊本地震でも震度 7 が 2 回も起きたと、こういうような状況の中で、国としてもその辺に備えて今後の防災計画なり、あるいはまた建築基準法なりの問題で、波及していくんじゃないかなというふうに私自身は思っているのですね。それは一つの今後の方法として、どういうふうになるかというのを、また注視してまいらなければいけないというふうに思っております。

そこで今、具体的に一次避難集合所ですね、集合所というのはやっぱり、まさに災害における命というのを一番に大前提として重要なことで計画をしていかなきゃいけないということで、身近で集合避難所、避難集合所と言いますかそういう所が第一次として、66 箇所選定させていただいてあるということで、指定させていただいているということであります。その後において今具体的に、町内における、どちらかという状況によっては指定避難所と言いますか、避難所ということになってくるのかなと思うのですね。そういう場合に今言われたように、町内にある鉄筋コンクリートの、耐震性が極めて高い、そういう所と協定したらどうかと、こういうこととございますので、今後の中ではそんなことも踏まえて、また理解いただけるかどうかも踏まえて、安全を見越して対応

平成 28 年第 412 回信濃町議会定例会 9 月会議録（3 日目）

しておくということは、間違いではないだろうと思いますので、また考えてみたいなど思います。

●議長（小林幸雄） 北村議員。

◆11 番（北村照明） それと、これ計画と話が離れるんですが、食料の備蓄についてちょっとお聞きしたいのですが、町でも非常食を備蓄されていると思いますが、過日の新聞にちょっと面白いことが書いてありました。それは、個人で乾燥野菜か瓶詰めを作って保存食とすると、万が一の時は災害のそのときの食料としても使えるし、また個人の家の食料として使えるというような内容がありまして、冷凍保存というのは簡単に冷凍ができるんですが、災害時停電になってしまうと冷凍食品がみんな溶けて傷んでしまうということで、これは面白くないというような話が載っておりました。この町でも夏野菜など大変いっぱい採れますので、野菜を干したり、また瓶詰め等にしてしっかり保存食として、個人で作っておいたら大変いいんじゃないかと思います。また野菜を干して調理すると栄養価も全然また数段と違うし、食感も全然違うというようなことが書いてありましたので、また保健師さんや栄養士さんに、それぞれまた何かの講習会等々にこういうお話を勧めてもらったらいいんじゃないかと思いますが、その辺の考えはどうでしょう。

●議長（小林幸雄） 横川町長。

■町長（横川正知） はい。災害というようなことになると、いろいろなことをまさに、先ほどの話ではないですが想定できるものは想定しなければいけないことだと思うのですね。そういう中で、個人でできるもの、そして公で対応をしっかりとすると、こういうことがあろうかと思います。先般も柏原地区を拠点とした防災訓練が、これは土砂災害を想定しての訓練であります。鳥居川署の分署長からも、災害ですから訓練といえども自分のところに家にある防災グッズといいますが、そういうものを持ってこの避難訓練に参加してもらいたい、というようなお話もあったわけでございます。そういう面では個々にやっぱり努力すべき、防災用品もそうですけれどもね、その辺も含めてこれから、私ども公な立場としてもまた機会あるごとに、そんなお願いというか啓発と言いますか、していくということも、防災に備える一つだろうというふうに思います。以上です。

●議長（小林幸雄） 北村議員。

◆11 番（北村照明） それでは、冬期間のこんな大震災がないことをまた願い、また台風 13 号が今発生して、どうもこちらの方に向かってくるような様子でございますが、災害のないことを願って、次の質問に移ります。

平成 28 年第 412 回信濃町議会定例会 9 月会議録（3 日目）

軽自動車税ということで、お願いします。

農耕用特殊自動車、田植機に関してお聞きをいたします。2年ほど前にこのことについてお聞きしましたが、その後ナンバー交付は進んでいますか。その頃私もナンバーをいただき、そのナンバーが31でした。今回は何戸ぐらいがナンバーを受けておるのでしょうか。お願いします。

●議長（小林幸雄） 伊藤税務会計課長。

■税務会計課長（伊藤 均） はい。ナンバーの数でございますけれども、先ほど議員さん、2年ほど前の議会でということで、前の総務課長が答弁したのは、その当時は12台でございました。その後、この軽自動車税につきましては、償却資産の対象になっているということで周知が相当遅れておりまして、それを理解していただくためにも、その申告時とか広報等によりまして大分数が増えてきまして、現在のところ合計で38台の登録がなされております。以上です。

●議長（小林幸雄） 北村議員。

◆11番（北村照明） 私も2年前に質問して、すぐ申告の時、係の皆さんが「田植機ありますよね」と言うから、「はい、あります」、「すぐ登録して下さい」、それで登録した時が31台で、いまだ38台なんて、ちょっとおかしいんじゃないかと思えますね。私の集落でも大体端から、こう指折りこう数えて、田植機のある家は、と数えると、大体20戸くらいありますよ。町中とえば相当数あると思うのですが、その辺もしっかりこれ調査してほしいと思えますが、どうでしょう。

●議長（小林幸雄） 伊藤税務会計課長。

■税務会計課長（伊藤 均） はい。把握には苦労しておるんですけれども、販売店とかそういうところにも協力依頼をして、購入、販売したときには登録していただきたいということをお願いをしております。また、窓口等におみえの、農業をされている方にもお願いをして今やっているところでございますけれども、非常に把握が難しいということで、今後も広報活動等も強化する中で不公平がないように努めてまいりたいと思っております。

●議長（小林幸雄） 北村議員。

◆11番（北村照明） 前回の質問の時もお聞きしたんですが、ナンバーをいただいても公道を走れないという、まあまあ面白くないことがあるわけですね。それで、今もう、1日で田植えが終わるような方も、乗用の田植機を持っておる方が多分相当いると思うのですね。そういう方が多分登録しないのではないかと思うのですが、いかがでしょうか。

平成 28 年第 412 回信濃町議会定例会 9 月会議録（3 日目）

●議長（小林幸雄） 伊藤税務会計課長。

■税務会計課長（伊藤 均） はい。今、面積等によって、多いとか少ないに関わらず、今は効率化という中で、乗用トラクター大小購入されている方がいらっしゃるんですけど、当然購入先が町内、町外ということありますので、その辺の把握も十分、今後販売店を通しながら把握して、課税をしていかなければならないかと思っております。

●議長（小林幸雄） 北村議員。

◆11 番（北村照明） 機種によっては、もう乗って動かさなくてはならない、できない機種もあります。私が使っているのは、後ろで降りてハンドルを操作しながらもできるんですが、絶対大型の 6 条、8 条用上のような田植え機は、乗って道路を動かさなくちゃできない、そういう機種もあるんです。ナンバーを取っても、道路交通法で乗って動かしちゃいけないというようなことですので、これナンバーを付けても何のメリットもないわけですね、私の考えから言うと。それで町は軽自動車税課税するというのですが、どうもその私の考えと町の考えがちょっと食い違っておるので、その辺の考えはどうなのでしょうね。

●議長（小林幸雄） 伊藤税務会計課長。

■税務会計課長（伊藤 均） 道路運送車両法という中で、乗用田植機につきましては小型特殊自動車ということに定義されまして、大小に関わらず、構造上で道路輸送車両の保安基準を満たしていないと、これはどこの町村も同じだと思いますので、この基準が改正される部分であれば、これから課税については公平さがないんじゃないかと思っております。

●議長（小林幸雄） 北村議員。

◆11 番（北村照明） 先ほど伊藤課長の方から税の公平性等々の話がありましたんですが、私も税の公平性という立場から言えば、例え 1 日でも持っている人が対象になって、軽自動車税を払っていただかなくちゃいけないと思うのですが、税の公平性から考えて町長はどのように考えておるのですか。町長の考えをお願いいたします。

●議長（小林幸雄） 横川町長。

■町長（横川正知） はい。基本的には北村議員さんと同じであります。そしてまた税ということでございますので、その公平性というのは極めて大事な要素だというふうに思います。今、課長からも答弁をさせていただいているんですが、この課税客体と言

平成 28 年第 412 回信濃町議会定例会 9 月会議録（3 日目）

ますか、その田植機なりが町としても正直なところ、よそのお宅へ行って倉庫の中を見
るといふわけにもいきませんし、あくまでも自主的な申告をいただきたいということ
ありますので、努力はさせていただいているんですが、御質問の趣旨も踏まえてやっ
ぱり今後も一層、税制の中でこういうことになっていますよと、ということをしかり
またお知らせも、事ある度にしていかなくてはいけないんだらうなというふうに思っ
ております。そういうことで、広報も含めて今後も更に周知をしてまいるのが、町
の立場かなと思っております。

●議長（小林幸雄） 北村議員。

◆11 番（北村照明） これから買う人は、販売店から直に分かるんですけど、何年
も前に持っている人等々もしっかり調査して、皆に軽自動車税を払ってもらわなく
ちゃ、やっぱり不公平感が出るもので、是非担当の係としてもその辺の努力を
お願いしたいと思います。

それから、3 番目の質問ですが、消防団員の活動服についてお聞きをいたします。

団員への夏服、活動服の夏服の貸与についてお聞きをいたします。過日の県の
操法大会に、長野消防協会代表として町の団員が操法大会に出場しておりまして、
その時団員が夏服という活動服を着用して大会に臨んでおります。競技が終
わって、どうもちょっと今までの服と違うんだなあと思って、ちょっとお聞き
しましたら、選手の皆さんは素材が薄くて通気性が良くて、大変使い勝手
が良いというような、選手の皆さんからの声がありました。夏服の貸与につ
いて町長はどう考えておりますか。

●議長（小林幸雄） 横川町長。

■町長（横川正知） はい。消防団の活動服、夏服の関係であります
が、今年からと申しますか、今ありましたように信濃町、町を代表して県大会
に出場する、そういう操法大会に対する要員の皆さんの活動服については、
夏服を貸与するようにしたわけでありまして、要は、その活動服、夏用の
活動服を今貸与しているということをお願いしたんですが、それも難燃性
ではない、燃えにくい材質を使っているわけではない、あくまでもその操
法大会用の、何と言いますか活動服だということでございますので、そんな
ことも含めて本当に、夏物も難燃性のものでそういったものもあるのかど
うかも私はちょっと承知はしておりませんし、他の自治体の消防団がど
ういうふうな対応をされているか、今の状況の中で確かに暑い時期につ
いては大変だらうなというふうには思うのですが、しかし御苦労は御
苦労として、毎日毎日の事ではないものですから、是非その辺は御理
解いただいて、当面は現状のとおりをお願いできればというふう
に思っているところであります。

平成 28 年第 412 回信濃町議会定例会 9 月会議録（3 日目）

●議長（小林幸雄） 北村議員。

◆11 番（北村照明） 我々も、もう 5 月から 9 月までクールビズかね、もうそういうような時期になっておりました、消防団員の操法の練習も信濃町大会に向けては、5 月からということで大変暑い時期に向けてがんばっておるわけでございます。また、町長もこの間の 4 日の日の防災訓練の時、町長も防災服を着て、各集落を周っておりましたが、町長も見てお分かりだと思いますが、隊員の多くが暑いから皆さん腕まくりをして、がんばっておりました。多分町長も見ておると思います。町長もその時、多分暑いと、あの服を着て活動すると大変暑いんじゃないかと感じたと思うのですが、いかがでしょうか。

●議長（小林幸雄） 横川町長。

■町長（横川正知） 当然に今年の陽気の問題もありますし、私自身の体型的な問題もあります。大変暑い時期に暑い日の訓練だったなというふうに思っております。

●議長（小林幸雄） 北村議員。

◆11 番（北村照明） さっき町長からも答弁もありましたが、夏服としても消防で燃えにくい素材ではない、この間の操法大会の時は燃えにくい素材ではないというような話がありましたが、私、消防団員に夏服・冬服と二つ貸与するという事は、団員も大変優遇されているんじゃないかと思う、団員各位がそう感ずると思います。他の市町村で 2 着を貸与している町村あるのか、ないのか分かりませんが、団員の確保においてもまた信濃町ではこれだけ優遇されているんだよというような、団員確保においても大変重要なことだと思いますが、再度お願いしたいと思います。

●議長（小林幸雄） 横川町長。

■町長（横川正知） はい、正直なところ近隣町村も含めて、御質問いただく中で、通告いただく中で、調査を事務局でさせていただいているわけでございます。近隣町村もそういうことでは特に夏服ということでは貸与していないというのが、長野市も含めて実状であります。これ本当に団員の皆さんの活動ということをお考え、まさに北村議員さんのおっしゃるとおりかと思えます。しかし、もう一方でやっぱり 600 万、700 万という予算上も支出が伴うということでもありますから、それが何年かに一辺ずつ回ってくるということになるわけですから、その辺も考えると、当面今の消防服で活動をお願いしたいというふうに思っているのが、今の思いであります。

●議長（小林幸雄） 北村議員。

平成 28 年第 412 回信濃町議会定例会 9 月会議録（3 日目）

◆11 番（北村照明） 大変お金のかかることですが、やっぱり若い消防団の皆さんが町を守ってくると、そういう消防団の皆さんのことを思って、また何とかお金を工面して実現させていただきたいと思いますが、1 年では多分無理かもしれませんが、順に進めていったらいいと思うのですが、いかがでしょうか。

●議長（小林幸雄） 横川町長。

■町長（横川正知） 全体的な流れも含めて、全くそのことを 100 パーセント否定しているわけではありませんので、いろいろな諸状況の中で必要とあらば、またそういう対応もしていきたいと、しかしここ来年やるとかいう問題ではないということだけは御理解いただきたいと思います。

●議長（小林幸雄） 北村議員。

◆11 番（北村照明） それでは、消防団員の皆さんにがんばっていただくように、町も努力しているというようなお姿を見せていただきたいと思います。
これで、質問を終わります。

●議長（小林幸雄） 以上で、北村照明議員の一般質問を終わります。
この際、申し上げます。昼食のため、午後 1 時まで休憩といたします。

（午前 11 時 43 分）